

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

「アジアの“健康・保養”観光地づくり」による産業活性化及び雇用創出

2 地域再生計画の作成主体の名称

指宿市

3 地域再生計画の区域

指宿市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域再生計画の意義及び目標

指宿市は、観光と第一次産業を基幹産業としており、特に観光は、「砂むし温泉」という世界で唯一の温泉を筆頭に、開聞岳、池田湖、知林ヶ島等の多様な自然資源を有しており、年間約 300 万人が訪れる九州屈指の温泉保養観光地となっている。

入浴による血液循環促進等の効用が非常に高い砂むし温泉、薩摩富士と称される開聞岳、潮の満ち干で砂州が現れる知林ヶ島など、健康づくりのフィールドとなる自然資源は海、湖、山、島と多彩であり、健康の源となる食についても、ソラマメ、オクラ、サツマイモ等の農産物からかつお節等の海産物まで多岐にわたる。こうした環境のよさから、Jリーグや社会人野球のスポーツキャンプ地として九州有数の規模となっている。

このように、本市には、健康・保養をテーマとする観光の核となる「温泉」、「自然環境」、「食」、「スポーツ」の地域資源が豊富で、そのポテンシャルは非常に高く、近年の「健康」を指向する新たな観光ニーズに対して、本市は非常に適した地域環境を有している。

また、中心市街地については、国、県等の行政機能や、商業、教育、医療等の都市機能が集中していることから、行政、経済の中核的な役割を担っているが、郊外の開発が進む中で衰退が見られる。観光地区との連携も進んでおらず、観光都市指宿としての南国情緒あふれる雰囲気づくりなども不十分である。本市の中心市街地活性化に向けては、市民生活の拠点としてだけでなく、指宿観光の集客・滞在拠点として位置づけることが重要であり、魅力ある商業地・市街地の形成、温泉地らしい景観形成等による観光都市としての魅力再生に努めていくことが必要である。

一方で、平成 22 年度末、九州新幹線が全線開業となり、北部九州の都市部からの時間距離が大幅に短縮され、マーケットの拡大や商品・サービスの多様化などが期待されている。また、平成 20 年の NHK 大河ドラマ「篤姫」放映を、観光の起爆剤にしようとする動きが官民一体となって盛んに行われている。

このように、九州新幹線の全線開業などを契機として、官民あげて観光振興に取り組んでおり、観光都市指宿の新しい挑戦がスタートしている段階である。

以上のように、健康・保養をテーマとした観光振興が、本市の観光産業や農業、水産業、

食品製造業までその効果を幅広く波及させ、また健康産業という新たな分野の産業を創出することにより、新規雇用の創出につながる最良の取り組みである。現時点の本市の主要計画である新市建設計画（平成 17 年度策定）においても、“健康・保養”の観光地づくりを推進する方針である。

また、本計画で提案している内容は、「アジア・ゲートウェイ戦略会議」や「観光立国推進戦略会議」などで議論している我が国の重要政策に対して、非常に深いかかわりを持つ内容であり、本事業の推進により、これらの重要政策の実現につながるといっても過言ではない。

以上のようなことから、本再生計画においては、砂むし温泉を中心とする質・量ともに豊富な温泉資源を中核に、観光関係者をはじめ、第一次産業、飲食サービス、保健・医療、スポーツ等の関係者との連携を図りながら、本市に賦存する自然環境、食資源、スポーツ環境等の健康素材を融合した「アジアの“健康・保養”観光地」づくりを推進することにより、観光産業の振興による雇用開発はもちろんのこと、本市の特性を活かした健康産業を新たに創造し、地域の新規雇用に創出することを目的とする。

4-2 地域再生計画の数値目標

数値目標としては、「地域雇用創造推進事業（新パッケージ事業）」を活用した事業の実施による年度別雇用創出数の目標を、平成 20 年度は 100 人、21 年度は 102 人、さらに 22 年度には 102 人、3 年間で 304 人の新規雇用に創出する。

なお、各事業における数値目標は、下記のとおりである。

① 食の王国指宿ブランドの確立に向けた人材育成事業	73 人
② ガーデンシティ構想の実現に向けた人材育成事業	9 人
③ 国際観光都市いぶすきの推進に向けた人材育成事業	182 人
④ スポーツ関連ビジネス振興のための人材育成事業	25 人
⑤ U・I ターン者、地域求職者等への相談、情報提供事業	15 人

5 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

(1) 食の王国指宿ブランドの確立

本市は、温暖な気候や肥沃な台地、池田湖を水瓶とする広域にわたるかんがい用水、泉熱等を活かし、オクラやさつまいも、ソラマメなどの豆類など、質の高い農産物が生産されている。農業粗生産額が約 293 億円で、耕種部門が約 136 億円、畜産部門が約 157 億円となっている。

また、食料品製造業の年間出荷額は約 175 億 2 千万円で、年間の製造業約 228 億 7 千万円の 76.6% を占めており、本市の基幹産業として根付いている。大根の漬物である山川漬けやオクラの漬物、豆腐などの農産加工品や、アジ等の一夜干しやカツオの加工品などの水産加工品等、多様な食料品がつくられている。特にかつお節は、丁寧な作りと品質の良さから、全国的な知名度が高い。このような中で、道の駅や唐船峡などにおいて販売している食品等の多くは地元産となっており、豊富な一次産品から、より付加価値の高い食

料加工品まで揃っている。

今後は、儲かる農業への転換を図るべく、高付加価値農業への取り組みを進めるとともに、ふるさと便の実施や道の駅などの物産施設の整備等により、農産物の直売体制の強化を進めていく必要がある。また、食料品製造業についても、さらに高度加工事業への取り組みを進め、付加価値の高い産業への転換を図っていくことが必要である。

一方、観光との連携について、一部のホテルで取り組んでいる地元産の食品等の直売や、統一された料理の開発に向けた検討など、これまでの取り組みを継続的に進めていくとともに、本事業の推進をはじめとした新たな施策に取り組むことで、今後とも食料品製造業及びその関連産業の振興を進めていくことが必要である。

そのため、新規事業の立ち上げや事業拡大戦略、多角化戦略などを図るための人材誘致、コンサルティング、法人化支援などを実施するとともに、農産加工グループなどを対象に、食品加工技術などの習得をめざした技術研修、特産品やメニューの新規開発への支援などを行う。また、山川港常設市場など直売や飲食事業の推進を図るために、販売促進やマーケティング、店舗運営などに関する支援を行う。さらに、加工・販売面のみならず、一次産品の生産者の育成が必要なことから、現在本市で取り組んでいる「農業マイスター制度」を活用し、マイスターによる新規就農者・農業後継者の育成を図る。

(2) ガーデンシティ構想の実現

泉熱等を活かした花き・観葉の生産が活発に行われている。指宿観葉のブランド化など、高付加価値農産物の生産拡大など、儲かる農業への転換を図るべく取り組みが進んでいる。花き・観葉の農業粗生産額は約 69 億円となっている。現在は、道の駅などの物産施設における直売の強化や観光産業との連携による新しい取組を進めている。また、域内供給体制の構築を目指し、沿道植栽等の際は地元産の活用を図るとともに、県のフラワーパークかごしまとの連携などにより、積極的な需要拡大を進めている。

今後は、農業生産体制の維持・強化及び生産拡大、直販事業の強化などこれまでの取組を引き続き進めていくとともに、域内供給体制のさらなる拡大、観光産業との連携による新たな事業展開など、付加価値の高い産地づくりとあわせ、さらなる需要拡大対策を進めていくことが必要である。

そのため、菜の花マラソンの開催やフラワーランドなど、指宿市の花や観葉植物のメッカとしての特徴を活かし、まち全体が花で包まれた庭園のような美しさを持つ市街地の形成を図るとともに、ガーデンプランナーの育成や花卉農家の法人化支援、花の加工技術者の育成など花等に関連するフラワービジネスの育成を進める。

(3) 国際観光都市いぶすきの推進

本市は、観光と第一次産業を基幹産業としており、特に観光は、「砂むし温泉」という世界で唯一の温泉を筆頭に、開聞岳、池田湖、知林ヶ島等の多様な自然資源を有しており、年間約 300 万人の観光客が訪れる九州屈指の温泉保養観光地となっている。

しかしながら、近年、宿泊観光客数の大幅な減がみられ、5 年ほど前から 2 割近いマイナスで、特に団体客における減少が大きくなっている。

このような中で、九州新幹線の全線開業を間近に控えており、北部九州からの時間距離が格段に短縮され、本市の観光にとって非常に大きなインパクトがある。また、平成 20 年の NHK 大河ドラマ「篤姫」の放映にあわせて、篤姫の生まれ育った地である指宿枕崎

線の薩摩今和泉駅周辺の整備をはじめ、各種イベントやキャンペーン等誘客活動などが計画・実施されており、篤姫ゆかりの地や島津氏温泉別荘跡などを有する本市においても、官民一体となった動きが盛んになってきている。

一方、「健康」をテーマとした観光は、健康や医療、美容等をテーマとする旅行が拡大しているだけでなく、旅行の健康に与える影響や予防医学としての旅行の効果などが研究され、健康配慮型観光、旅行医学といった概念も生まれてきている。現在でも、健康増進サービスと観光を融合させた新たな観光商品「スパヘルス」や「予防医療」「先端医療」「創薬研究」「心のケア」を柱とするメディポリス指宿の取組など、新たな商品・サービスの開発が進みつつある。

以上のように、本市の観光は、従来型の観光では産業規模が縮小していくことが懸念されることから、新たなコンセプトへの転換が不可欠であり、“健康・保養”観光地という新概念に基づいた取り組みを進めていく必要がある。

そのため、今後の指宿観光の振興方向である「ヘルスツーリズム」の推進に向けて、ホテル等民間企業が主体となったヘルスツーリズム関連事業の事業化に向けた取り組み（事業拡大戦略や多角化戦略等）を積極的に支援する。

また、メディポリス指宿等との連携により、アロマセラピーや海洋療法等の技術者の育成、温泉療法士（バルネオセラピスト）や温泉療法医の育成を行う。

さらに、本市の観光産業を担う人材の育成、アジア諸国からの訪問者へのホスピタリティやコミュニケーション能力の習得など国際感覚を身に付けた人材育成などを行う。

加えて、自然体験型観光の推進に向けた体験メニューづくりや体験指導インストラクター等の育成等を進める。

(4) スポーツ関連ビジネスの振興

温泉や自然環境、豊富な食資源など地域環境のよさから、Jリーグや社会人野球のスポーツキャンプ地として九州有数の規模となっている。近年では、年間8団体程度の利用があり（1週間以上の団体利用のみ）、周年を通じたスポーツキャンプが行われている。

受け入れ態勢としてはホテルが中心であり、宿泊機能とあわせてフィットネスサービスなどの関連するサービスを提供している。また、医療とフィットネスサービス等が融合したサービスを模索している例も見られるなど、今後は、スポーツ関連サービス業として、新しいサービス業の振興が期待される。

そのため、本市の貴重な産業資源である「スポーツ」を活用したビジネスの振興に向けて、食の素材や温泉等の自然素材など、地域資源をトータルに活用した総合的なスポーツ健康増進メニューの開発、健康運動指導士などスポーツ健康医療サービス事業に関する人材の育成などを進める。

5-2 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

該当なし

5-3 その他の事業

5-3-1 「地域雇用創造推進事業【B0902】」を活用した事業

(1) 食の王国指宿ブランドの確立に向けた雇用拡大事業

食品関連産業の振興のため、新規事業の立ち上げや事業拡大戦略、多角化戦略など経営戦略に関する知識やノウハウを獲得するために、現在計画中の山川港常設市場や唐船峡などを対象に、支配人クラスの人材誘致、経営戦略や新商品開発ノウハウなどのコンサルティングを実施する。

また、花卉農家や農産加工グループ等の法人化への支援のために、法人設立基礎講座及び個別コンサルティング事業を実施する。

①食品関連産業の新規事業分野進出コンサルティングの実施

- ・ 支配人クラスの人材誘致にかかる公募（山川港常設市場）
- ・ 新規事業の立ち上げや事業拡大戦略・多角化戦略等に関する個別コンサルティング（山川港常設市場・唐船峡等）

②創業・法人化支援による地域雇用の拡大

- ・ 法人設立基礎講座の実施（花卉農家・加工グループ・販売グループ等）
- ・ 法人設立に関するコンサルティングの実施
- ・ 農業生産法人設立講座

(2) 国際観光都市いぶすきの推進に向けた雇用拡大事業

国際観光都市の推進に向けて、ホテル等の宿泊業を中心に事業拡大戦略や多角化戦略など、観光産業における経営戦略の知識やノウハウの獲得を目指したセミナーを開催する。また、これからの本市観光の振興方向である「ヘルスツーリズム」に関連した新規事業分野への進出を図る企業等への個別コンサルティングを実施する。

一方、観光都市のイメージを形成する重要な要素である中心市街地活性化に向けて、コミュニティビジネスの育成に向けた創業・法人化支援のための講座を開催するとともに、事業計画の策定から実際の起業までをトータルにアドバイスする、法人設立コンサルティング事業を実施する。また、JR九州との連動イベントで話題となった「すき焼き」など、指宿ならではの統一的な郷土料理開発のためのセミナーを開催する。

①ホテル等宿泊業の経営戦略に対する支援

- ・ 観光商品・サービスの高度化に向けたセミナーの実施
- ・ 温泉の効能、入浴法等に関するセミナーの実施
- ・ 新規事業分野（特にヘルスツーリズム）進出に対するコンサルティングの実施

②コミュニティビジネス育成に向けた支援

- ・ 法人設立基礎講座の実施（基礎講座・講演会）
- ・ 法人設立コンサルティング事業の実施
- ・ 統一された郷土料理開発のためのセミナーの実施

(3) 食の王国指宿ブランドの確立に向けた人材育成事業

食の王国指宿ブランドの確立に向けて、市内の農産加工グループなどを対象に、食品加工技術などの習得をめざした技術研修及び短期派遣研修を実施する。また、健康食を中心とした特産品やメニューの新規開発、ノウハウの蓄積をめざし、加工技術と商品開発の知識を持った人材を育成するため、流通関係者や食研究者による特産品開発セミナーを実施

する。

また、近々整備が予定されている山川港常設市場において、直売や飲食事業の経営経験を持つ者が少ないことから、販売促進やマーケティング講座、店舗運営に関する講座を行う。

さらに、加工・販売面のみならず、一次製品の生産者の育成が必要なことから、現在本市で取り組んでいる「農業マイスター制度」を活用し、マイスターによる新規就農者・農業後継者への技術研修及び短期派遣研修を実施する。

一方、水産業などの基盤的な産業である造船産業について、天然の良港である山川港を活用した造船産業の復調がみられることから、造船技術者育成に向けた技術研修を実施する。

①技術力向上・特産品開発のための人材の育成

- ・農産物の加工技術者の育成のための技術研修の実施
- ・水産物の加工技術者の育成のための技術研修の実施
- ・農水産物の加工技術習得のための短期派遣研修の実施
- ・特産品開発セミナーの実施

②物産施設（山川港常設市場等）に関する人材の育成

- ・店舗マネジメント研修の実施
- ・販売促進やマーケティング活動に関する研修の実施（先進地及び消費地での販売研修）
- ・物産施設の運営に関する先進地への短期派遣研修

③農業マイスターの育成・確保に向けたセミナー等の実施

- ・農業マイスターによる新規就農者・農業後継者への技術研修の実施
- ・農業マイスター育成・確保のための短期派遣研修の実施

④水産業にかかる基盤産業である造船産業の技術者の育成

- ・造船技術者育成に向けた技術研修の実施

(4) ガーデンシティ構想の実現に向けた人材育成事業

菜の花マラソンの開催やフラワーランドなど、指宿市の花や観葉植物のメッカとしての特徴を活かし、まち全体が花で包まれた庭園のような美しさを持つ市街地の形成を図るとともに、花等に関連するフラワービジネスの育成を進める。

そのため、ガーデンビジネスの推進に向けた園芸管理技術者（ガーデンプランナー）等の育成を図るとともに、ガーデンシティ先進地について現地研修を行う。また、生産技術研修や花農家の法人化支援など花農家の育成を図るとともに、花の加工技術者の育成のための研修を実施する。

①フラワービジネス推進に向けた人材の育成

- ・園芸管理技術者（ガーデンプランナー）育成のための技術研修の実施
- ・花・観葉農家等の生産・販売技術高度化のための短期派遣研修の実施
- ・花・観葉に関する加工技術者育成のための技術研修（フラワーアレンジメント等）の実施
- ・フラワーツーリズム推進のための先進地研修の実施（長野県小布施町、房総半島方面）

(5) 国際観光都市いぶすきの推進に向けた人材育成事業

第一に、指宿市の基幹産業である観光関連産業において予想される国際的に対応できる人材の不足を補い、担い手を育成するために、観光産業の基礎的知識の習得やホスピタリティの醸成など観光関連産業に従事するための基礎的な研修（実地研修を含む）を実施する

とともに、アジア各国からの訪問者へのホスピタリティやコミュニケーション能力の習得など国際感覚を身に付けた人材育成のために必要な語学講座やアジア文化講座を行う。また、効果的な観光プロモーションやオペレーション技能の習得のためにIT基礎講座を実施する。

第二に、今後の指宿観光の振興方向である「ヘルスツーリズム」の推進に向けて、メディポリス指宿等との連携により、アロマセラピーや海洋療法等の技術者の育成セミナーを実施するとともに、温泉療法士（バルネオセラピスト）や温泉療法医の育成に向けた研修を行う。また、ホテル等においてヘルスツーリズムの事業化に向け、事業化に向けた方策等を検討するために、国内・国外の先進地研修を実施する。

第三に、自然体験型観光の推進に向けて、環境保全プログラム、体験メニューづくりに必要な専門知識を習得するため、体験指導インストラクターやガイドなどの養成研修を凶るほか、実践者を講師とした実地研修会を行う。また、自然体験型観光の全体を企画・コーディネートする人材の育成を図るためのセミナーを実施する。

①観光関連ビジネスに関する人材の育成

- ・観光産業基礎セミナー（ホスピタリティ講座など）の実施
- ・アジア文化・言語基礎講座（アジア文化講座・中国語講座・韓国語講座等）の実施
- ・IT基礎講座の実施

②ヘルスツーリズム推進に向けた人材の育成

- ・アロマセラピー・タラソセラピー技術者の育成
- ・温泉療法士（バルネオセラピスト）育成のための短期派遣研修の実施
- ・温泉療法医の育成
- ・ヘルスツーリズム推進のための先進地研修の実施（北海道士幌町、長野県鹿教湯温泉）

③自然体験ツーリズム推進のための人材の育成

- ・自然体験指導インストラクター・ガイドの養成研修の実施
- ・コーディネーター養成講座の実施
- ・コーディネーター育成のための派遣研修の実施（九州ツーリズム大学など）

(6) スポーツ関連ビジネス振興のための人材育成事業

本市の貴重な産業資源である「スポーツ」を活用したビジネスの振興に必要な人材を確保するために、健康運動指導士などスポーツ健康医療サービス事業に関する人材を育成するとともに、スポーツ関連ビジネスをトータルでコーディネートできる人材の育成を図る。また、スポーツに加え、砂むし温泉等や食事療法などを含めた総合的なスポーツ健康増進メニューの開発・技術研修を行い、サービスを実践する人材を育成する。

①スポーツ関連ビジネス推進のための人材の育成

- ・スポーツ関連ビジネスに関するセミナーの実施
- ・健康運動指導士など養成講座の実施
- ・スポーツ関連ビジネスに関する事例研修（鳥取県鳥取市、新潟県新潟市など）

(7) U・Iターン者、地域求職者等への相談、情報提供事業

U・Iターン者及び地域求職者等の就業を支援するためのホームページを作成し、就職情報の提供やセミナー、研修会の開催等の周知を行うとともに、U・Iターン者に対して、住宅情報などを含めた総合的な情報提供を行う。

①U・Iターン希望者情報提供事業

・U・Iターン希望者へ総合的な情報を提供するホームページ作成・管理運営

5-3-2 「地域再生基盤強化交付金【A3003】」を活用した事業

該当なし

5-3-2 指宿市が独自で展開する事業

(1) 食料生産分野（農水産業・食料品製造業）

①オクラ、ソラマメなど園芸作物の生産振興

ソラマメは、作付面積・共同販売量・品質が認められ「いぶすきソラマメ」としてかごしまブランドの指定を受け、日本一の産地となっている。また、新規就農者支援事業や法人化への支援、農業指導者制度（専門的技術者の組織化）の導入による指導体制の強化など、中核経営体の育成対策及び農業後継者対策を実施している。

今後も継続的な生産振興を図るとともに、素材出荷だけでなく加工品の開発に力をいれ、付加価値の高い産地形成を図っていく。また、研修施設の充実や農業後継者の海外派遣制度の導入、農業マイスター制度の導入などを計画している。

②唐船峡を活用した農産加工品・特産品・料理等の開発

そうめん流しを名物とする市営の「唐船峡」では、平成18年度に高度で専門的な知識や経験を持つ人材を市職員として公募。周年を通じた営業を目指し新メニューの開発やサービス提供方法の改善などに取り組んでいる。

今後、周辺環境整備やエレベーター棟・駐車場等の整備を行うとともに、地元食材を使った食品加工開発を行うことなどにより、事業規模の拡大を目指している。

③物産施設の整備・充実

道の駅いぶすきをはじめとし、砂楽、ふれあい公園、そうめん流し等の公的な施設や研究グループなどの有人無人販売所などが各地各所に設置され多くの方で賑わっている。

市内4漁港から水揚げされるタコやカツオ、ブリにアジなどの水産物等を地元で販売し、販路の拡大を図るため、週に4回程度朝市を開催しており、市民及び観光客に好評である。

今後、直売機能のさらなる充実を図るとともに、新たな施設として、山川港常設朝市を整備する。常設市場の整備により、より一層の定着を図り、地元の農水産物や特産品等の販路拡大に努め、山川港の活性化につなげる。

(2) 花き・観葉生産分野（農業・流通販売）

①泉熱等を利用した花きや観葉植物等の生産振興

温泉の地熱を利用した花きや観葉植物が生産されており、泉熱利用型ハウス園芸として団地化が図られ、全国有数の産地となっている。また、鹿児島県の施設である「フラワーパークかごしま」も立地しており、花や観葉植物の供給先としてなど、相乗効果が生まれてきている。

かごしま園芸タウン産地拡大事業による花き（観葉植物を含む）栽培技術の高度化を図り、生産性の向上及び高付加価値化を目指す。

②「花と緑のガーデンシティ構想」の推進

観光客が多く立ち寄る観光地や街路等沿いを中心に、南国指宿をイメージさせるための市民総ぐるみの「花いっぱい運動」を展開するとともに、観光客を温かく迎えるホスピタリティの醸成を推進している。また、菜の花は南国の早い春をイメージせる花であり、菜の花マラソンに連動して、池田湖周辺への菜の花の植栽を行うとともに、製品開発を行っている。さらに、中心市街地部分において、指宿駅舎の外装、足湯、花壇の整備など大幅なリニューアルを行った。

一方、平成20年のNHK大河ドラマ「篤姫」決定を受け、今和泉地区から宮ヶ浜地区を通り、知林ヶ島方面に抜ける約6kmを海浜公園やボードウォークなどと一体的に整備する。また、官民一体となって、篤姫関連イベントの開催など誘客プロモーション活動を展開している。

花いっぱい運動などは、運動や景観形成のみならず、フラワービジネスへの転換を図る方針であり、加工による商品開発や花を目的とするツアー商品の開発など総合産業として育成する。

篤姫関連は、本年度に引き続き、ハード整備を進める。プロモーション活動についても、NHKなど関係機関との連携をとりながら強力に進めていく。

(3) 観光・飲食サービス業及び小売業振興分野（ホテル等宿泊業、中心市街地活性化）

①指宿観光の中心「温泉保養型観光」の推進

砂むし温泉の公衆浴場的な役割を持つ施設として、砂むし温泉施設「砂楽」を整備し、指定管理者によって管理運営を進めている。

「予防医療・先端医療・創薬研究・心のケア」の4分野を事業の柱とし、産学官連携により、健康増進・医療向上に資する施設として、メディポリス指宿の整備及びその活用を進めている。

砂むし温泉施設「砂楽」は、指定管理者導入でサービスの向上と施設の充実を図りながら収益拡大を図る。また自主事業やPR活動により収益増につなげていく方針である。メディポリス指宿は、医療機関と連携して温泉療法の開発や食事療法開発に取り組んでいく方針である。

②指宿らしい自然体験観光の推進

開聞岳の登山・トレッキングや池田湖、知林ヶ島のエコツーリズムなど、本市が有する多様な自然資源を活用した自然体験観光を進めている。また、広域的に「指宿大好き体験協議会」を設置するとともに、ボランティアガイドの育成等を進めている。

また、開聞岳の麓に、草スキー場やキャンプ場、観光農園が整備された開聞山麓ふれあい公園が整備されており、家族連れや子どもたちのレジャーの場としてにぎわっている。

さらに、いちご狩り、ぶどう狩りやマンゴーの観光農園など各地域で農業体験交流が盛んに行われており、利用者が増加している。

自然体験型観光の拠点として、開聞山麓ふれあい公園の活用を図っていく方針である。「国民宿舎かいもん荘」の建替えに向けた検討を進めている。また、農政サイドのグリーンツーリズムとも連携して、「指宿に行けば、いつでも苺、マンゴーが食べられ農作業の体験ができる」の実現に向け、農園ごとの連携・組織化を行うとともに、「いぶすき美味いもんマップ」の作成等を行う。

(4) 健康・保養に関する他の産業振興分野（スポーツ産業、バイオ産業、医療・福祉サービス）

①新しいスポーツ関連サービス業の振興

日韓ワールドカップ時のフランス代表合宿の誘致をはじめ、様々なスポーツの合宿・キャンプの誘致活動を行っている。また、スポーツキャンプ等の誘致とあわせ、医療とフィットネスサービスが融合した新しいスポーツ関連サービス業の振興を進めている。

スポーツ合宿・キャンプの誘致を継続・拡充していくことはもちろんであるが、医療やフィットネスサービス、温泉など融合した産業の育成を図っていく。

②健康増進サービスと観光を融合させた新たな観光商品「スパヘルス」の試行

日本唯一の天然砂むし温泉を活用した滞在型宿泊商品の造成を目指すもので、JTB九州及び指宿市観光協会等との協働で、食事と砂むし温泉、運動、医療や専門家の指導を受けるなど、「健康増進サービス」と「観光」を併せた新産業創出を目的としている。現在はモニタリングを実施している。

6 計画期間

地域再生計画認定の日～平成 22 年度

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

本事業の利用者全員（法人・個人）に対し、年 2 回（9 月と 3 月）のアンケートを実施し、就業や創業の状況等を把握する。

また、未就業者等に対しては、未就業の理由や求職活動の状況等を調査し、個別ヒアリング等を含めたフォローを行い、他のメニュー利用の促進や情報提供を行い、就業を促進する。

8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし